

平成 22 年

第 1 回仙北市議会定例会

教 育 行 政 方 針

仙北市教育委員会

平成22年第1回仙北市議会の開会にあたり、平成22年度の教育行政方針を申し上げます。

◇はじめに

21年度においては、神代小学校の校舎・体育館が完成したほか、耐震化工事もすべて終了し、教育環境の整備が順調に進捗したところであります。

こうした中で、22年度からは、複式学級が生じる学校が見込まれており、その対策を講じたところでありますが、今後の児童・生徒数の推移や国の教育政策の動向等に十分留意し、仙北市の学校教育がどうあるべきか、教育委員会として議論をしているところであり、具体的な方向性を検討して参ります。

また、合併後、旧町村の体制を継続してきた学校給食や奨学資金制度について、可能な限り統一した方向で運営できるように、本年度検討を進めて参ります。なお、給食費については、田沢湖地区、西木地区の給食費を改訂し、角館地区と同じ水準の小学校275円、中学校310円に統一を図ることにしております。

昨年は、新型インフルエンザが猛威をふるい、市内の幼稚園、小・中学校においても、10月から12月にかけて、児童、生徒の発症が相次ぎ、学校の休校や学級閉鎖措置がとられたところであり、幼、小、中の延罹患者数は、2,168名に上りました。ワクチン接種が始まってからは、流行のピークを越え沈静化したところでありますが、今後とも、日常の健康管理に留意するよう呼びかけて参ります。

「全国学力・学習状況調査」については、結果の公表をめぐって、大きな議論になったところでありますが、22年度からは抽出調査となり、全国では、小学校で25.4％、中学校で43.7％の抽出率になっており、本市においては、神代小学校、中川小学校、西明寺中学校が、抽出調査対象候補校になっております。

なお、抽出調査対象外の学校においても、問題用紙の送付を希望

しており、各学校ごとに、調査の結果を日常の学習活動に有効に活用していくことにしております。

次に各課関係について申し上げます。

【教育総務課】

平成20年度からの3ヵ年事業として着手した神代小学校改築事業については、昨年12月に校舎棟及び体育館棟が竣工し、22年度においては、既存の管理棟及び体育館棟の解体の後に外構工事を行い、すべての事業が終了する予定になっております。

昨年度実施設計を行った西明寺中学校グラウンド建設事業については、本年度整備工事に着手し、平成23年1月の完成を目指しております。

また、懸案となっていた角館中学校の屋根及び外壁の改修については、きめ細かな交付金事業を活用し、21年度の補正予算に計上し、繰越事業として実施することにしております。

このほか学校施設の諸工事、維持修繕等については、優先度を考慮し、計画的に進めて参ります。

【学校教育課】

本年度の新入学児童及び生徒の予定人数は、小学校216名（前年度比18名増）、中学校254名（前年度比34名増）で、昨年度より多くなっております。

現在、学級編制作業を進めておりますが、中川小学校と白岩小学校に複式学級が生じることから、学級運営に支障をきたすことのないように、市独自に複式学級指導支援員2名を配置することにいたしました。また、通常の学級における児童生徒の生活支援を行う特別支援教育支援員については、小学校13名、中学校1名の配置を予定しております。

児童・生徒の不登校対策や日常の相談活動については、引き続き

「さくら教室」を開設するなど、教育研究室を中心に取り組んで参ります。

マニフェスト関連事業として、学校給食の中で、食の大切さを学ぶ食育活動を進めていくために、「食育を進めよう活動事業」に取り組むことにしております。

【生涯学習課】

「仙北市社会教育中期計画」に基づき、生涯学習、生涯スポーツの推進に努めているところですが、社会教育委員による計画実施状況の評価の内容を精査し、公民館を中心とした各種の講座・教室等の充実と参加者の一層の拡大を目指すほか、マニフェスト関連事業として、地域に根ざした住民主体の生涯スポーツの振興・普及を図る総合型地域スポーツクラブの推進に取り組むことにしております。

各地域ごとに実施している放課後児童対策事業について、本年度から新たに桧木内地区においても行うこととし、桧木内小学校の協力のもとに学校の施設を利用して開設することにしております。

現在整備が進められている「玉川河川公園」について、整備完了後は、サッカーを中心とした多目的なスポーツ広場として適切な管理運営と利用促進に努めて参ります。

【学習資料館・新潮社記念文学館】

学習資料館では、市内の図書館システムの統合を目指し、その第一段階として、西木公民館図書室に端末を置き、西木公民館蔵書のデータ化を進めるほか、田沢湖図書館のシステム整備と併せて、ネットワーク化に取り組み、図書館サービスの向上に努めて参ります。

マニフェスト関連事業として、市内の小・中学校12校の図書室に100冊程度の図書を配備する「子ども読書活動推進事業」に取り組み、学校図書館及び関連施設との連携を強化して参ります。

新潮社記念文学館では、開館10周年及び仙北市合併5周年を記念して、特別展「芥川龍之介展」を平福記念美術館と共催で開催す

ることにしており、文学館としての独自性を打ち出し、市民により一層親しまれるよう努めて参ります。

【市民会館・田沢湖図書館】

市民会館では、本年度の自主事業として、中学生を対象とする芸術鑑賞事業「響ALIVE」と一般を対象とする「陸上自衛隊東北方面音楽隊コンサート」の開催をそれぞれ予定しております。

また、25回目を迎える「生保内節全国大会」については、実行委員会を中心に内容を検討のうえ開催するほか、地域文化活動育成事業として、「たざわこ音楽祭」を引き続き支援し、芸術文化活動の振興に努めて参ります。

田沢湖図書館では、課題であった図書館のネットワークシステムの構築に取り組むことにしており、学習資料館との連携を図りながら利用者のニーズに応じて参ります。

【文化財課】

平成20年度から保存修理工事を行ってきた「旧石黒（恵）家」については、設置条例を本定例会に提案しておりますが、市の文化財として一般に公開するほか、新たな社会教育施設として、文化団体の活動や子どもたちのフィールドワークの拠点として利活用を図って参ります。

本年度の重要伝統的建造物群保存地区保存事業については、武村家主屋奥座敷屋根の修理と滑川家屋根の修景に応分の助成を行うこととしております。また、寛政5年（1793年）に秋田藩の角館郷校として創設された「弘道書院」については、その復元が保存整備計画に取り上げられておりましたが、本年度、復元基本構想の作成に取り組むこととしております。

田沢湖地区を中心に活動を続けている北浦史談会が創立50周年を迎え、その記念事業として実施する旧生保内街道の一里塚復元事業に対し支援することとしております。

仙北市の花に指定されている「桜」については、これまで武家屋敷や桧木内川堤の桜を中心に、文化財の視点からその維持管理を行って参りましたが、市内の各所に桜の名所があることから、文化財課に新たに桜係を配置し、関係部署との連携のもとに、市内全域の桜について、適切な管理と整備に努めて参ります。

【平福記念美術館】

本年度の企画展については、新潮社記念文学館との共催で、「芥川龍之介展」を開催することとし、美術館では主として芥川の書画の展示を予定しております。また、4月中旬から6月上旬には、桜まつりの協賛行事として「伊藤彰耳（ほうじ）展」、6月中旬から7月下旬にかけて、「没後30年 渡辺浩三展」をそれぞれ予定しております。常設展示については「平福穂庵・百穂展」の展示内容を替えながら年間を通じて開催することにしております。

一昨年（平成27年）の男鹿和雄展に引き続き、昨年は民間団体の主催により男鹿さんの作品展が開催されましたが、本年度においても男鹿さんにお出でいただく機会を設け、絵画教室等の開催を検討しております。

以上、教育行政方針について申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきましても慎重ご審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます。